

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 31 年 3 月 2 日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に遵守した適切なスペースを有効活用	限られた広さの中で物の配置などを工夫し、広々と使えるようにする
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士・教職の有資格者と専門分野の指導員の採用	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差はなく、クッションマットなどで安全性を確保	より明るく楽しいスペース作り
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		勉強会・研修会へ積極的に参加	今後も学びの場を広げる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		直接のご意見ヒアリングを大切にしている	定期的な評価表の実施は今後の課題
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載	定期的に更新など今後の課題
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に外部評価を行っている	継続することで改善につなげる
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		業務に差支えない様、確保している	研修会の学びの場を職員全体で共有することに努める
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に面談や、電話など聴き取り個別支援計画を立てる	今後も丁寧に継続
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		サービス利用前に基本情報を確認	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の会議で立案	子供達に何が最も必要かを都度考え立案する
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員と意見を話し合い子供達・保護者からの	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		多種多様なプログラムで対応	色々なジャンルの専門の先生などに協力を依頼し、課題を決めオリジナルの取り組みを実施する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々確認し、作成している	日々変化する子供たちの成長をしっかりと見極めて作成する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の会議で確認	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の会議グループメールで確認	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報・個人記録保護者との文章の交換を記録	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングをし支援計画を見直している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		行っている	
20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		参加している		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 31 年 3 月 2 日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校、いきいきと連携をとり、適切に行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			現在は該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有をし、先生方と連携をとり努めている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて情報を提供している	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今後も連携を大切にする
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		障害のない児童との交流は基本的に行っていない	保護者からの意見もあり、難しい課題だが、希望があれば検討する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加している	今後も交流を大切にする
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の子供の様子成長について伝え共通理解に努める	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要に応じて対応している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学・契約時に丁寧に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		正しくヒアリングし、共に考え助言と支援を行っている	保護者の気持ちをしっかり汲み取れるよう、より努める
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会に関しては障害をカミングアウトされていない保護者が多い事に配慮している	検討はしているが、現実的に難しい課題である
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している	迅速かつ細やかな対応を心がける
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の予定表お便り、お知らせなどお渡ししている	今後は食育や研修内容なども発信していく
	35	個人情報に十分注意している	○		徹底しておこなっている	今後も徹底して行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉の配慮に加え丁寧に伝えている	各方面で勉強を積み、情報伝達に努める
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個人情報の問題があり、難しい取り組み

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 31 年 3 月 2 日

事業所名 ウキウキさくらんぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		職員内では周知徹底している	保護者の間では知られていない方もいるので 今後、説明を徹底する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		文書などで告知 地域の防災訓練に参加	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会などに参加し 職員と共有してい	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在は該当者なしだが 説明はしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			現在該当者なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例を出し 共有している	